

銀山街道に新たな息吹

石見銀山の世界遺産登録で改めて検証されつつある銀山街道。

飯南町には江戸時代の銀山街道が残っています。

銀山街道は、幕府の直轄地であった石見銀山(大田市大森町)から尾道(広島県尾道市)まで銀を運搬するために整備された「銀の道」です。

百五十年前までは銀を運搬する大行列が通行し、その後も山陰、山陽へと行き交う人々で賑わったであろう銀山街道は、このたびの石見銀山の世界遺産登録に伴い、いま、大きく脚光を浴びようとしています。

銀山街道を訪ねる会の要旨より



下赤名の古民家

当時の道が残り、脇には江戸時代のもと思われる農家がそのまま残っている。



銀山街道

鬱蒼とした木立に囲まれた道は往時を偲ばせる。



国境の碑(赤名峠)

赤名峠には天保3(1832)年に広島で作られた国境を示す標柱が移設されており、柱には「従是南 備後國」「従是南 藝州領」「三次郡 横谷村」と読める。

平成19年度 一般会計補正予算



ポピー祭りより

1億3千628万円増額

6月定例会は、6月12日から6月21日までの10日間の日程で開かれ、18件が提案されました。これらは審議の結果、全議案が原案通り承認、可決されました。

**6月定例会で可決された
主な議案は次のとおりです。**

報告

飯南町一般会計及び飯南町公共下水道事業特別会計繰越明許費の報告についてなど五件

承認

専決処分承認を求めることについて
「平成十八年度飯南町一般会計補正予算」など七件

条例制定

琴引スキー場及び琴引スキー場周辺施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例など二件

予算

平成十九年度飯南町一般会計補正予算など三件

その他

飯南町過疎地域自立促進計画の変更について一件

各会計	補正予算	予算総額
一般会計	136,283千円	6,934,870千円
特別会計		
老人保健事業	11,212千円	1,000,879千円
公共下水道事業	12,529千円	322,573千円